



表紙、目次、規約、編集後記、編集委員、奥付

メタデータ	言語: ja 出版者: 公開日: 2023-04-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10466/00017937">http://hdl.handle.net/10466/00017937</a>

# 言語文化学研究

## 第 18 号

- 村上春樹『ノルウェイの森』論  
—〈カジュアルティーズ〉をめぐって— 陳 柯岑 一
- 横笛「水龍」説話考  
—龍神から取り戻した笛— 妹尾 恵里 二三
- 〈翻刻〉大阪公立大学図書館蔵『平家物語』（三） 奥村 和子 三七
- 疑問語につく「も」と「でも」の使い分けについて  
—名詞述語文、形容詞述語文を中心に— 周 侃 1

2023年 3 月

大阪公立大学 現代システム科学研究科  
現代システム科学専攻 言語文化学分野

## 規 約

- 1) 雑誌『言語文化学研究』は、3分冊とし、それぞれ「日本語日本文学編」「英米言語文化編」「言語情報編」とする。
- 2) 大阪公立大学現代システム科学研究科言語文化学分野所属の教員は、雑誌『言語文化学研究』に投稿することができる。
- 3) 下記3つの範疇に属する者で、大阪公立大学現代システム科学研究科言語文化学分野所属の教員の推薦を受けた者は、『言語文化学研究』に投稿することができる。
  - (1) 大阪公立大学現代システム科学研究科言語文化学分野に在籍する学生および修了生、単位取得退学者
  - (2) 大阪府立大学人間社会システム科学研究科に在籍する学生および修了生、単位取得退学者、並びにその前身となる教育課程の修了生
  - (3) その他特に、大阪公立大学現代システム科学研究科言語文化学分野所属の教員が認めた者
- 4) 投稿は未公刊学術論文に限る。
- 5) 原稿の査読・採否の判断その他の編集業務はすべて編集委員会の決定にしたがって行う。編集委員会は、教授1名以上を含む委員構成にする。なお、査読は複数の査読者によって行われる。
- 6) 投稿方法、原稿の書式については別に定める投稿規定、執筆要項を参照のこと。
- 7) 掲載原稿の著作権は、著者に帰属する。ただし、編集委員会は、掲載原稿を電子化し、公開・配布するための権利を有するものとする。

## 編 集 後 記

『言語文化学研究 第18号』をお届けします。

2022年4月、「大阪府立大学」「大阪市立大学」の二大学が統合され、公立大学法人大阪公立大学として新たなスタートを切りました。それに伴い、現代システム科学研究科現代システム科学専攻が誕生し、言語文化学分野が設けられました。

学術雑誌『言語文化学研究』は、この言語文化学分野所属の教員を中心として刊行しており、これまで専門分野に応じて「日本語日本文学編」「英米言語文化編」「言語情報編」の3分冊として刊行してきましたが、第17号から合冊として刊行するに至りました。

## 編 集 委 員

山崎正純（日本語日本文学）

中村直子（言語情報）

2023年3月31日発行

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1

大阪公立大学 現代システム科学研究科

現代システム科学専攻 言語文化学分野

# 言語文化学研究

## 第 18 号

- 疑問語につく「も」と「でも」の使い分けについて  
— 名詞述語文、形容詞述語文を中心に — 周 侃 1
- 〈翻刻〉大阪公立大学図書館蔵『平家物語』（三） 奥村 和子 三七
- 横笛「水龍」説話考  
— 龍神から取り戻した笛 — 妹尾 恵里 二三
- 村上春樹『ノルウェイの森』論  
— 〈カジュアルティーズ〉をめぐって — 陳 柯岑 一

2023年 3 月

大阪公立大学 現代システム科学研究科  
現代システム科学専攻 言語文化学分野